

第1回審議会提出資料	
男女平等意識について	
問1	各分野での男女の地位の平等について
仕事と家庭等の両立について	
問2	仕事と生活の望ましいバランス 自分自身の希望について
問2-2	仕事と生活の望ましいバランス 現状の自分自身について
問3	今後、男性が家事等に積極的に参加するために必要だと思うこと
問4	家庭における役割分担
問4-1	1日の生活時間
問5	育児や介護等に関する制度の認知度・利用度
問6	男性の育児や介護に関する制度の利用が少ない理由
問7	男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと
就労について	
問8	現在の生活の経済的状況について
問8-2	現在の生活の経済的状況が苦しいと感じる理由
問9	仕事と仕事以外の生活の両立における不安や悩み
問10	仕事を辞めた経験
問10-2	仕事を辞めた理由
問10-3	仕事を辞めた後の再就職について
問11	女性が働くことについて
問12	女性の就労継続、再就職に必要なこと
問13	職場での女性活躍の取組について
問14	管理職への昇格の希望
問14-2	管理職への昇格を希望しない理由
問15	女性の起業促進のために必要なこと
地域での男女共同参画について	
問16	地域活動での男女共同参画について
問17	地域活動における方針決定の場に女性が参画するために効果的なこと
問18	男女共同参画の視点からの災害対応として日頃から行う必要があること
問19	女性防災士の活動に対する認知度
問20	災害時の避難所運営について必要なこと
問21	広島市男女共同参画推進センターの認知度
問22	広島市男女共同参画推進センターの役割として期待すること
男女間における暴力の防止・被害者支援について	
問23	配偶者、交際相手などに対する暴力の有無
問24	配偶者、交際相手などからの暴力の有無
問24-2	配偶者や交際相手などから受けた暴力に対する相談の有無
問24-3	相談しなかった理由
-	-
問25	ハラスメント(セクシュアル・マタニティ・パタニティ等)の経験、見聞きしたことの有無
問25-2	ハラスメント(セクシュアル・マタニティ・パタニティ等)が行われた場所
問26	配偶者や交際相手などからの暴力を防止するために必要なこと
-	-
-	-
-	-
性の多様性について	
-	-
問27	性的少数派の方々にに対して必要だと思う取組
女性の健康について	
問28	女性の健康に関して必要な支援の有無(どのような支援が必要か)
-	-
男女共同参画社会の実現に向けて	
問29	男女共同参画に関する認知度(用語)
-	-
-	-
問30	男女共同参画社会実現のために広島市に期待すること
自由意見	

最終(案)		主な変更等の理由
男女平等意識について		
問1	各分野での男女の地位の平等について	
仕事と家庭等の両立について		
問2	仕事と生活の望ましいバランス 自分自身の希望について	・単独の設問とし、枝番を削除した。
問2－2	仕事と生活の望ましいバランス 現状の自分自身について	
問3	今後、男性が家事等に積極的に参加するために必要だと思うこと	
問4	家庭における役割分担	
問5	1日の生活時間	
問6	育児や介護等に関する制度の認知度・利用度	
問7	男性の育児や介護に関する制度の利用が少ない理由	
問8	男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと	
就労について		
問9	現在の生活の経済的状況について	
問9－2	現在の生活の経済的状況が苦しいと感じる理由	
問10	仕事と仕事以外の生活の両立における不安や悩み	
問11	仕事を辞めた経験	
問11－2	仕事を辞めた理由	
問11－3	仕事を辞めた後の再就職について	
問12	女性が働くことについて	
問13	女性の就労継続、再就職に必要なこと	
問14	職場での女性活躍の取組について	
問15	管理職への昇格の希望	
問15－2	管理職への昇格を希望しない理由	
－	－	・他アンケートで代用可能なため削除した。
地域での男女共同参画について		
問16	地域活動での男女共同参画について	
問17	地域活動における方針決定の場に女性が参画するために効果的なこと	
問18	男女共同参画の視点からの災害対応として日頃から行う必要があること	
－	－	・防災士は民間資格であり、その活動内容は個々によって違うため、女性防災士の活動の認知度を問う質問は難しいことから削除した。 なお、広島市では、地域で防災活動を率先して行う方を、「地域防災リーダー」として養成しており、防災活動において女性の役割は重要であること、現計画では「女性地域防災リーダー」の割合を増やすことを目標に掲げていることから、女性の積極的な受講を呼びかける注釈を加えた。
問19	災害時の避難所運営について必要なこと	
－	－	
－	－	
配偶者などからの暴力の防止・被害者支援について		
問20	配偶者、交際相手に対しての暴力の有無	
問21	配偶者、交際相手からの暴力の有無	
問21－2	配偶者や交際相手から受けた暴力に対しての相談の有無	
問21－3	相談しなかった理由	
問22	配偶者や交際相手などからの暴力を防止するために必要なこと	・意見を踏まえ、「ハラスメントについて」という大項目を追加した。
ハラスメントについて		
問23	ハラスメント(セクシュアル・マタニティ・パタニティ)の経験、見聞きしたことの有無	
－	－	・新計画への活用が難しいことや質問数を減らし回収率を向上させるため削除した。
生活状況について		
問24	家庭に関わる問題	・新計画は、困難女性支援法の市町村基本計画にも位置付けることから、関連する設問を追加した。
問25	健康に関する不安や問題	
問26	職場や学校、地域での人間関係に関わる問題	
性の多様性について		
問27	LGBT(性的マイノリティ)の認知度	・委員意見を踏まえ、追加した。
問28	LGBT(性的マイノリティ)の方々への理解の促進や支援に対して必要だと思う取組	・表現を修正した。
女性の健康について		
問29	女性特有の健康課題に対して必要な取組	・意見を踏まえ、調査項目を修正した。
問29－2	生理に関する理解の促進に必要な取組	・市民等からの関心の増加に伴い、枝番を追加した。
男女共同参画社会の実現に向けて		
－	－	・現行計画の施策の指標である「LGBT」の認知度以外の項目は、新計画への活用が難しいことや質問数を減らし、回収率を向上させるため、削除した。なお「LGBT」の認知度の項目は問27に追加した。
問30	広島市男女共同参画推進センターの認知度	・意見を踏まえ、設問を移動した。
問31	広島市男女共同参画推進センターの役割として期待すること	
問32	男女共同参画社会実現のために広島市に期待すること	
自由意見		